

日本地球電気磁気学会会報 (第62号)

1974年5月27日

日本地球電気磁気学会

連絡先 東京都文京区弥生2丁目11の16

(〒113)

東京大学理学部地球物理学教室内

電話 03-812-2111 (内線 6476)

振替 東京 4860番

1. 第55回総会

第55回の日本地球電気磁気学会総会は昭和49年5月17日午後千駄ヶ谷区民会館において開催されました。議長には委員長指名により
行 武 毅会員が当りました。

(1) 平尾邦雄大会委員長挨拶

(2) 運営委員会報告

玉尾委員より庶務報告があり、学会の事務簡素化のため別刷交換会を本年6月限りで廃止することになりました。金田委員からの昭和48年度決算報告は別紙の通りで、繰越金が約28万円増加しています。小嶋委員からは会誌JGGに関する報告があり、年間発行回数を6回に増加したことに伴い、優秀な論文を積極的に投稿して欲しいとの要望がありました。

(3) 田中館賞授与

第64号 河野 長会員

古地球磁場強度変化の研究

(4) 委員長挨拶

(5) 議 事

- i) 昭和48年度決算及び昭和49年度予算(別紙)を可決しました。
- ii) 小林運営委員から従来東京大学地球物理研究施設にお願いしてきた学会事務の一部を東大出版会内学会センターに依頼することを考えてはどうかとの問題提起がありました。このための費用は約30~40万円と見込まれます。会員の意見はこれを支持するものが多く、更に秋季の総会までに運営委員会が学会センターと交渉を行ない事務依頼計画案を作ることになりました。

(6) 次期開催地

西田運営委員より秋期開催地として岐阜地区にお願いしてはとの提案があり、
太田委員(岐阜歯科大)がお引き受けするとのことで、岐阜市での開催が決定した。

2. 昭和48年度決算

<u>収入の部</u>		<u>支出の部</u>	
前年度繰越金	2,654,116	第53回総会費	251,320
学会費	860,500	第54回総会費	273,680
J.G.G.代金	10,991	編集・出版分担金	300,000
別刷代金	101,100	会報等印刷費	266,700
予稿集売上	454,400	通信・郵送費	106,295
別刷交換会々費	21,500	消耗品費	11,275
預金利子	105,625	会合費	8,070
田中館賞基金追加	3,000	謝金	35,337
	4,211,232	田中館賞経費	21,534
		繰越金	2,937,021
			4,211,232

長谷川基金

<u>収入の部</u>		<u>支出の部</u>	
前年度繰越金	500,881	事業費	15,500
預金利子	20,071	繰越金	505,452
	<hr/> 500,952		<hr/> 520,952

3. 昭和49年度決算

<u>収入の部</u>		<u>支出の部</u>	
前年度繰越金	2,937,021	第55回総会費	350,000
学会費	973,000	第56回総会費	350,000
賛助会員会費	20,000	編集・出版分担金	300,000
予稿集売上	600,000	会報等印刷費	75,000
預金利子	120,000	通信・郵送費	150,000
	<hr/> 4,650,021	消耗品費	40,000
		会合費	15,000
		謝金	400,000
		田中館賞経費	30,000
		繰越金	2,940,021
			<hr/> 4,650,021

4. 新入会員

清水 幹 夫 (東大宇宙研) 宇宙物理学
井口 博 夫 (東海大海洋) 岩石磁気
飯塚 進 (東海大海洋) 地震学
石田 光 男 (東海大海洋) 地磁気測量

KOJI KAWASAKI (東大理地物研) Geomagnetism

古田俊夫 (鎮西学院短大) 古地磁気

駄口光夫 (岡崎高校) 地球内部電磁誘導

野田彰 (東大理地物研) 超高層プラズマ波動

高柳明夫 (高層気象台) 太陽電波物理学

佐川永一 (東大宇宙研) 超高層大気物理学

高橋文穂 (東大宇宙研) 超高層大気物理学

Mrs. GIRIJA RAJARAM (東大宇宙研)

Solar Terrestrial Physics

岡田敏美 (群馬大工) 電離層, 電子工学

加藤諠司 (気象庁地磁気観測所) 地球物理学

5. 別刷交換会の廃止について

総会報告に記したように, 別刷交換会は廃止されることになりました。最後の別刷発送は6月15日に行ないますので, この機会に論文配布を希望される別刷交換会員は早速学会事務所宛お送り下さい。

6. 8年間学会事務のために尽力して下さい下さった齊藤貴美恵さん(東大地物研究施設)は今回極地研に移られることになりました。ここに心からの感謝の意を表したいと思います。

7. 1974年秋期総会ならびに講演会(第56回)についてのお知らせ

第56回総会ならびに講演会は岐阜地区(引受け機関:岐阜大学, 岐阜歯科大学)に決定しました。開催期間は11月12日(火)~15日(金)の4日間の予定です。

8. お知らせ

『第7回月惑星シンポジウム』を下記により開催いたします。

期 日 昭和49年7月11日(木)～13日(土)

場 所 東京大学宇宙航空研究所構堂

講演を希望される方は、講演者(所増・身分)、題目、講演要旨(400字以内)を6月8日(土)までに下記世話人のところへお届け下さい。

東京都目黒区駒場4-6-1 (〒153)

東京大学宇宙航空研究所 清水幹夫

Tel 467-1111 内 440 or 495

第16回IUGG総会に関するお知らせ

上記会合は1975年8月25日～9月6日フランスのグルノーブルで開かれます。現在簡単なFirst Circularを出しておりますが、詳しくは各associationsの内容予定、講座申込方法を記載し参加登録申込用紙を添えたSecond circularが本年9月に配布される予定になっています。

いまFirst circular入手御希望の方は東大(理)福島直までお申出下さい。なお日本学術会議地球物理学研究連絡委員会電磁気分科会では海外出張中の力武主任にかわって私が主任を、大林委員が幹事をつとめております。

(福島直記)

東京大学宇宙航空研究所教授及び助教授の公募

下記のとおり教授及び助教授を公募いたします。希望者の応募及び適任者の推薦をお願いします。

(A) 粒子線宇宙科学部門

1. 部門および公募人員:

粒子線宇宙科学部門 教授1名, 助教授1名

2. 研究分野：

飛翔体などを使って宇宙からの放射線，粒子線等を観測し宇宙物理学の研究を行う。

3. 提出書類：

(イ) 応募の場合

履歴書，業績リスト，主な論文の別刷，研究計画，本人について意見を述べられる人2人以上の住所，氏名

(ロ) 推薦の場合（本人の了承を得ておいて下さい。）

推薦者，略歴，主要業績リスト，できれば主な論文の別刷

4. 公募締切：

教授 昭和49年7月 1日（月）

助教授 昭和49年9月14日（土）

5. 着任時期：

決定後なるべく早い時期

(B) 外圏物理学部門

1. 部門および公募人員：

外圏物理学部門 教授 1名

2. 研究分野：

飛しょう体などを使って地球外圏域の物理現象およびそれに基づく地球環境に関する研究。（主として実験）

3. 提出書類

(イ) 応募の場合

履歴書，業績リスト，主な論文の別刷，研究計画，本人について意見を述べられる人2名以上の住所，氏名

(ロ) 推薦の場合(本人の了承を得ておいて下さい。)

推薦書, 略歴, 主要業績リスト, できれば主な論文の別刷

4. 公募締切: 昭和49年7月1日(月)

5. 着任時期: 決定後なるべく早い時期

書類の送り先: 東京都目黒区駒場4-6-1(〒153)

東京大学宇宙航空研究所 人事掛

Tel 東京(467)1111(代表)

決定方法:

研究所内人事委員会の審査を経て教授会で決定します。

ただし, 適任者がいない場合は決定を保留します。

昭和49年5月

東京大学宇宙航空研究所長

浅 沼 強

(附) 宇宙航空研究所は, 宇宙科学・宇宙工学・航空に関する学理およびその応用の総合研究を行なうため, 共同利用研究所として, 昭和39年4月, 東京大学に附置されました。このうち宇宙科学の部門では, 大気球, 観測ロケット, 科学衛星による地球大気圏外の物理的現象の直接観測およびそれに関連する理論的実験的研究を行なっています。また, 共同利用研究所として, 全国の宇宙空間科学者のために, 飛しょうり体による観測や当研究所内に設置された共同利用施設による共同研究および各種の研究会などの世話をしております。

応募に際してはこの点をお含みおき下さい。

会費納入について

現在会費未納の会員は、郵便振替を利用して御納入下さい。

郵便振替番号：東京 4 8 6 0

宛 先：文京区弥生 2 - 1 1 - 1 6

東京大学理学部地球物理学教室内

日本地球電気磁気学会